

素 敵

千葉県少年合気道連盟会長 五月女 重夫

千葉県少年スポーツ連盟中央大会開催によせてひとことご挨拶申し上げます。私たちはよく『素敵』という言葉を用います。素敵な洋服、素敵な所、素敵な場所、素敵な先生など…辞書を引いてみますとその意は①ことにすぐれたさま②最もぬきんでたさま、などが出てきます。合気道はとても素晴らしい武道であり、言葉の響きや動きなど『素敵』な武道であると私は信じて疑いません。

しかしながらその『素敵』という言葉をよく見てみると、なんと字の中に『敵』という字が入っています。試合を行わない合気道には、とても不似合いな言葉です。本来、合気道は投げては投げられ互いに練りながら稽古を続け、切磋琢磨しながら向上してゆく武道です。よって演武や稽古を行う相手は敵ではありません。

しかし『敵』という字を読み替えると『かなわない』とも読みます。素晴らしさに敵わないという意で『素敵』となります。

合気道は稽古相手を敬い、感謝をしながら稽古を積重ねる人間形成の道でなければなりません。そして互いの尊敬の念が合わされて始めてひとつの技が完成される素晴らしい武道です。

来年度より実施される中学校での武道必修化においても、一種目の武道をただ授業として行われてしまうことに私は危惧しています。武道本来の性質はさておき一種目の武道を取り入れ、技のみを行う授業は危険ですが、教える指導者が競技武道で試合のみの教育を受けてきたのなら、残念ながら『素敵』の素晴らしさが抜け、『敵』という言葉だけが残り、試合重視、技のみの授業となり、武道本来の特性を失い返って逆効果のように思えます。

せっかく武道が必修化になるのだから技だけではなく、武道本来の礼儀作法や考え方や伝統文化などを学校教育で行えることを希望します。

本日皆さんが行う昇級審査・演武審査は試合ではありません。そのことを十分に理解したうえで審査に望んでください。一緒に稽古をしてきた仲間と『素敵』な演武『素敵』な動きを見せてください。そして『素敵』な一日を過ごしてください。私達指導者一同、皆さんの演武に期待をしています。

最後に、本日の大会を主催して下さった千葉県教育委員会並びに、合気道活動への絶大なご支援とご理解を頂いている千葉京葉・ゆうきの両ライオンズクラブの諸先生方、指導者一同深く感謝いたします。今年も立派なメダルを子供たちへ贈ることが出来ます。本当にありがとうございました。

そして保護者のみなさまに於かれましては大切なお子様を私達指導者にお預け頂き、ご協力頂き感謝申し上げます。本日が『素敵』な演武審査大会になりますように、そしてこれからも子供たちの健全育成のため、私達指導者一同気を引き締めて努めて参ります。本日はありがとうございました。